

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連

江南厚生病院

Vol. 38

2017.7

INDEX

コラム

- ① 江南厚生病院における臨床研修
～地域とともに医師を育てる～
- ② 地域包括ケア病棟について

トピックス

介護予防・日常生活支援総合事業が始まりました

和みの庭のご案内

新人看護師の成長

看護の日を終えて

お知らせ

第6回食育を考えるワークショップ・江南

がんサロン「にじの会」のご案内

公開医療福祉講座

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- － 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- － 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- － 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

江南厚生病院における臨床研修

～地域とともに医師を育てる～

副院長兼第1診療部長兼臨床研修部長兼
血液細胞療法センター長兼外来化学療法センター長兼
血液・腫瘍内科代表部長兼輸血部部長兼
臨床検査科部長

河野 彰夫



皆さんは医師の臨床研修制度についてご存知でしょうか。「診療に従事しようとする医師は、2年以上の臨床研修を受けなければならない」とする、わが国の医師法に基づく制度です。昔のインターン制度（1968年に廃止）では、医学部卒業後1年間の実地修練（臨床現場での無給の過酷な労働）を経て、はじめて医師国家試験の受験資格が与えられるというものでしたが、現行の制度では、医学部卒業直後に国家試験を受験することができ、国家試験合格後に保健所に申請することによって医籍登録が行われ、医師免許が交付されます。しかし、医師免許を取得したからといってすぐに普通に診療することは許されず、最低2年間は必要な条件を満たしたプログラムで研修をしなければならないのです。

臨床研修は、医師としてふさわしい人格を養い、日常遭遇する疾患に対応するための基本的な診療能力を修得することを目的として、厚生労働大臣の指定を受けた臨床研修病院で行われます。当たり前のことですが、机上の知識やシミュレーションだけで診療を行うことはできません。実地の経験、すなわち実際に患者さんと関わる診療の経験が必要です。神の手を持つと言われるスーパードクターにも、みんな研修医の時代があり、冷や汗をかきながら修練を積んだ経験があるのです。医師としてのスタート時点で行う臨床研修の持つ意味は非常に大きく、臨床研修病院の担う役割はとても重要です。

江南厚生病院は、前身である昭和病院・愛北病院において、50年近く前から名古屋大学関連の研修病院として多くの研修医を育ててきた実績があり、現在は新制度の下で実施されているマッチングに参加して、全国の医学部卒業生を研修医として迎え入れています（定員13名/年）。当院で研修医指導にあたるのは医師のみでなく、看護師やその他の医療専門職も臨床研修病院の役割を理解し、患者さんに安心安全な医療を提供することに最大の努力を払いつつ、みんなで協力して研修医を育てています。研修医は必ず指導医・上級医の指導・監督の下で診療にあたります。

地域の皆さんに最良の医療を提供し、皆さんが安心して生活できる社会を作ることが当院の最優先の役割ですが、将来の医療を安心して任せられる医師を育てることも重要な責務です。先輩医師による知識と技術の伝授も大事ですが、患者さんとの出会いの一つひとつが研修医の宝物であり成長の糧になります。地域の皆さんには当院の臨床研修病院としての役割をご理解いただき、研修医を厳しく、そして温かく見守っていただき、私たちと一緒に研修医を育てていただければと願ってやみません。



地域包括ケア病棟について

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。65 歳以上の人口は、現在 3,000 万人を超えており（国民の約 4 人に 1 人）、団塊の世代（約 800 万人）が 75 歳以上となる 2025 年（平成 37 年）以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。このため、厚生労働省においては、2025 年（平成 37 年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

そこで 2014 年度の診療報酬改定で誕生したのが「**地域包括ケア病棟**」です。地域包括ケア病棟とは、一般（急性期）病棟での病気やけがの治療は終了したものの、すぐにご自宅へ帰ったり、施設等へ入るには不安のある患者さんに、**在宅復帰に向けた支援・調整を行っていく**ための病棟です。



当院の 4 階西病棟は、現在「**医療療養病棟**」ですが、平成 29 年 9 月より「**地域包括ケア病棟**」へ転換を予定しています。

入院の対象となる患者さんは以下の通りです。

- 急性期の治療後、引き続き治療やケアが必要な方
- リハビリテーションが必要な方
- 療養先が決まっているが移るまでに準備が必要な方
- 在宅療養中で一時的に入院を必要とする方



原則として入院・転棟後 59 日以内での退院が可能な方になります。1 日あたりの入院費用は定額で、入院基本料、投薬料、注射料、処置料、検査料、画像診断料、リハビリテーション料など、ほとんどの費用が包括となります（食事代・個室利用料等、別途料金がかかります）。

急性期治療経過後、在宅療養・施設入所などに準備が必要な方や在宅療養中の患者さんは、主治医・看護師、または患者相談支援センターへご相談ください。

介護予防・日常生活支援総合事業が 始まりました

今年4月から江南市でも介護予防・日常生活支援総合事業（以下総合事業）が始まりました。総合事業とは、保険者（市町村）が地域の高齢者の実情に応じて、必要な『生活支援』『介護予防』を『総合』的に行っていく事業のことです。高齢になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる（地域包括ケアシステム）よう、2015年の介護保険改正で創設されました。具体的な変更点は以下の4つです。

- ①これまで要支援認定の方に提供されていたヘルパーとデイサービスが、「介護予防・生活支援サービス事業」に移行されました。
- ②基本チェックリスト（介護予防が必要である65歳以上の高齢者を早期に発見し、介護を必要とする生活を未然に防ぐための25のチェック項目）で該当した方も、①のサービスが利用できるようになりました。
- ③介護が必要になる前の段階から「住民同士の支え合い」や「自らの介護予防」に取り組んでいけるよう、NPOやボランティアなどによる様々なサービスを作っていくことが推進されます。
- ④全ての高齢者が気軽に参加できる運動教室の開催なども実施されます。

すでに多くの市町村が超高齢社会に突入している中で、お住まいの地域やご自身ではどのような準備をされていますか？ 総合事業では「地域の支え合いに参加することで自らの介護予防を行う」ことを推奨しています。この機会にぜひご自身の介護予防を考えてみませんか？

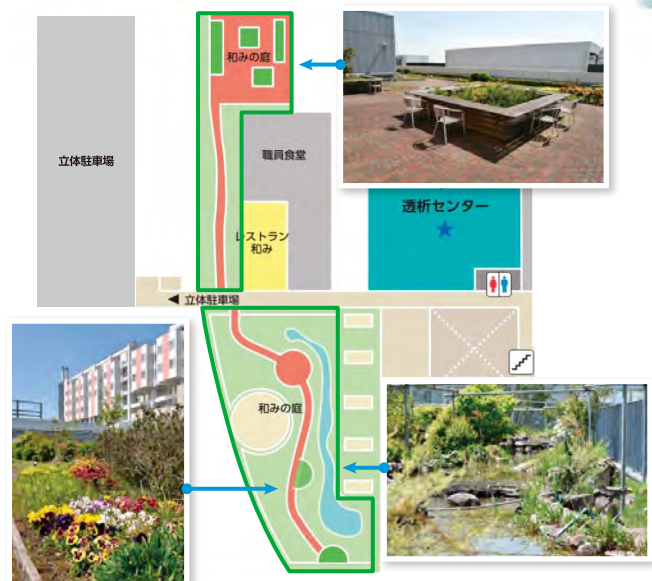


※制度の詳細は、お住まいの市町村役場か担当の地域包括支援センターまで

和みの庭のご案内

皆さんは、当院2階に「和みの庭」という場所があることをご存知でしょうか？

立体駐車場への2階連絡通路から行くことができます。小川にはメダカ、池には大きな鯉が泳ぎ、季節の花や木も植えられ、四季折々の表情を楽しむことができます。また、あまり知られていませんが、通路を挟んで反対側にも庭園があります。お時間があれば安らぎと癒しを求めて一度のぞいてみてはいかがでしょうか。



新人看護師の成長

医療の高度化や在院日数の短縮化、医療安全に対する意識の高まりなど国民のニーズの変化を背景に、臨床現場で必要とされる臨床実践能力と看護基礎教育で修得する看護実践能力との間には乖離が生じています。そこで厚生労働省では、医療機関の機能や規模にかかわらず、新人看護職員を迎えるすべての医療機関で基本的な臨床実践能力を獲得するための研修体制の整備を目指して、2010年に新人看護職員研修ガイドラインを策定しました。当院でもこのガイドラインをもとに新人看護職員教育を実施しています。



新人看護師は4月・5月の2か月間で医療安全や感染対策、日常の看護ケア技術などの研修を受けます。研修では実際の場面を想定したシミュレーションを多く取り入れ、体験的に学習ができるようにしています。研修で学んだことはできるだけ早いうちに先輩の見守りや指導の下で実践に移し、幾度か見守りの中での経験を重ね、先輩のチェックに合格して初めて1人での実施ができるようになります。

また、当院では誰から見ても新人ということが分かるように、看護職以外でも新人スタッフは全員黄色いストラップの名札をしています。病院職員全体で新人スタッフを育成することは重要であり、みんなで育て、支えあえるよう、またどの職員からも声かけられ、指導を受けることができるようにするためです。

社会人として新たなスタートをきった彼らが、様々な経験を重ね専門職業人としてのキャリアを積んで成長していくために、皆さん方にも温かく見守っていただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



5月11日・12日の2日間にわたり、看護の日のイベントを開催しました。今年は、『看護の心をみんなの心に～みんなの笑顔のために～』をテーマに、健康相談、ちびっこ白衣体験、看護部の各部署紹介のポスター展示などを行いました。

アンガーマネジメントファシリテーターによる『なぜ、人はイライラするのか知りたくないですか?』と題した講演では、身近な日常場面でのイライラの原因や対処の仕方などについてわかりやすく紹介しました。またフィオーレによる『女声アンサンブル』、Mrs. ティンカーベルによる『ミュージックベル』のミニコンサートでは、楽しいひとときを過ごしました。

来場者の皆さんには、葉っぱに見立てた付せん笑顔について記載してもらい、大きな『笑顔の木』を作成しました。みんなが笑顔になれるときで多かったのは、「好きな人（家族や彼氏・彼女）と一緒にいるとき」や、「みんなの笑顔を見たとき」でした。また、患者さんは「外泊できるとき」や「看護師の笑顔を見たとき」、病院スタッフは「患者さんが日に日に良くなって退院される時」でした。



これからもみんながたくさんの笑顔になれるよう、日々の看護を行っていききたいと思います。

主催：愛知県厚生連江南厚生病院

第6回 食育を考えるワークショップ・江南

参加費：無料
(事前登録不要)

日時 平成29年9月2日(土)
14時30分～16時30分

会場 すいとぴあ江南 多目的ホール
愛知県江南市草井町西200番地 TEL (0587) 53-5111

第1部：地域における食育活動報告

第2部：特別講演「ココロもカラダも健康でハッピーになる！足し算・引き算の栄養学」

(講師) 廣瀬 ちえ先生 (べっぴんプラス㈱代表)



出会い繋がる場『CHIE'S KITCHEN』料理スタジオ主宰、食のスペシャリストとして、「食を通じて幸せを分かち合う」をテーマに料理教室を主宰する他、企業、地域、学校での講演・クッキングセミナー等を各地で開催。また、食に関わる商品開発、飲食店メニュー開発などのフードコーディネーターも行う。「ココロとカラダが喜ぶ創造性豊かなレシピ」を提案
*NHK名古屋放送局『東海北陸フレッシュ便 さらさらサラダ』出演中。その他 メディア多数出演
ホームページ <http://www.chies-kitchen.com/> 廣瀬ちえオフィシャルブログ <http://ameblo.jp/hirose-chie/>

お問い合わせ先・・・
江南厚生病院栄養科 (担当：朱宮) TEL (0587) 51-3333 (代表)

平成29年度 中間やがんに関する詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？ がんサロン「にじの会」のご案内

- 対象 **がんを患っている患者さん**
あるいは、そのご家族
- 内容 10:00～10:30 プチ講座 (2か月毎に内容を変更します)
10:30～11:30 参加者同士の交流会

参加費
無料

●日程とプチ講座のテーマ

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
7/4(火)	医療用麻薬について知識を深める	がん性疼痛看護認定看護師
8/5(土),9/5(火)	知っておこう！いざという時の療養場所	がん看護専門看護師
10/7(土),11/7(火)	がん患者のための食事の工夫	管理栄養士
12/2(土),1/16(火)	サプリメントとのつきあい方	薬剤師
2/3(土),3/6(火)	ここまでできる！在宅医療の実際	ソーシャルワーカー

●場所 外来2階 多目的室 ※外来用エレベーター前

●参加方法 自由参加

<問い合わせ先> 患者相談支援センター (がん相談)
TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

2017 公開医療福祉講座

- 場所：江南厚生病院2階 講堂
- 時間：13:30～14:30
- 日程と内容

7月25日(火)	がん相談支援センター がん看護専門看護師 宇根底 亜希子
8月28日(月)	こども医療センター長 副院長 西村 直子
9月22日(金)	内分内分泌科 部長 有吉 陽

お問い合わせは・・・江南厚生病院
「医療福祉相談室」野田・梶原 まで
TEL 0587-51-3310

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間のご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2017年(平成29年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

発行日/平成29年7月1日

発行/JA愛知県厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300